

科目名 (科目番号)	臨床栄養学 (時間割参照)	教員名 山邊 志都子	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要	近年，病院内では臨床検査技師は栄養サポートチームの一員としてチーム医療に貢献する機会も多くなっている。一方，社会にはエビデンスに乏しい健康食品の広告が氾濫している。このような状況において，臨床検査技師として科学的に正しい知識に基づいた助言を与えることができるように，栄養学および臨床栄養学の基本を系統的に学ぶ。						
目的・目標	目的:(1) 栄養学の観点からの系統的学習により，人体の機能に関する理解を深める。 (2) 臨床栄養学の観点からの系統的学習により，疾病の成因および臨床検査に関する理解を深める。 目標:健康時と疾患における体の機能と栄養との関連および，栄養状態の評価法について具体的に説明できる。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	食事と栄養	到達目標:栄養学の概論を学び，食事の重要性を理解する。 学習内容:栄養学概論				
	2	栄養素の働き	到達目標:各栄養素の働きについて説明できる。 学習内容:糖質，脂質，蛋白質，アミノ酸，ビタミン，ミネラル，食物繊維，水				
	3	食物の消化と栄養素の吸収・代謝	到達目標:健康人における食物の消化と栄養素の吸収・代謝の過程を説明できる。 学習内容:食物の消化，栄養素の吸収，栄養素の代謝，栄養素の排泄				
	4	食事と食品	到達目標:食文化を理解し，食事摂取基準について説明できる。 学習内容:食文化，食事摂取基準，食品と栄養素				
	5	ライフステージと栄養(1)	到達目標:それぞれのライフステージにおける栄養の異同について説明できる。 学習内容:臨床栄養学概論，乳幼児期の栄養，学童期・思春期・青年期の栄養，成人期の栄養				
	6	ライフステージと栄養(2)	到達目標:妊婦，授乳婦，更年期，高齢期に求められる栄養状態について説明できる。 学習内容:妊娠期・授乳期の栄養，更年期の栄養，高齢期の栄養				
	7	疾患と栄養(1)	到達目標:疾患と栄養との関連を理解し，症例の栄養状態の評価法および食事療法について具体的に説明できる。 学習内容:栄養サポートチーム，栄養状態の評価と判定，疾患・症状別食事療法				
	8	疾患と栄養(2)	到達目標:病気から回復するため，また健康を維持するために必要な食事内容について，具体的に説明できる。 学習内容:病院食，栄養補給法，健康づくりと食生活				
成績評価の方法・基準	筆記試験100%（オンラインの場合も同じ）						
教科書							
参考図書							
教員からのメッセージ							